

全国 検数労連

695号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日
港福会館 5 階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国 検数労働組合連合 書記局



4月5日(火) 第5回 検数労連22春闘交渉 15:00~15:30

再度、有額回答を求めめるも両協会に有額回答・諸要求回答共に 回答を提示しないことに対し、組合は強く抗議する！

前回と同様の主張となるが、主

今回の交渉でも有額回答の提示は出来ないとのことだが、我々としては賞金以外の回答は出来るのではないかの認識している。この間、現場で働いている従業員の22春闘に対する期待は徐々に高まっているなかで前回の交渉と同様の内容では職場の士気にも影響が出てくる。

【組合主張】

組合は、前回の交渉に引き続き今回の交渉でも有額回答が提示できないとする両協会の姿勢に対し、抗議すると同時に次の点を主張しました。

【全日検】

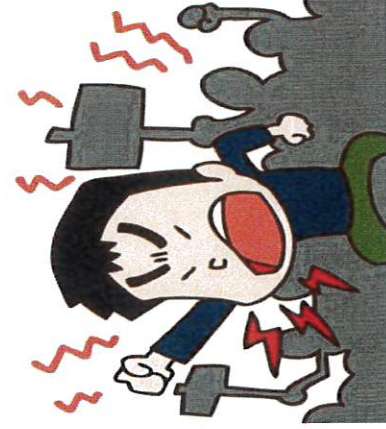
前回の交渉で、労組から『主体性をもった回答を』との主張を受けたが、やはり中央港湾団交の推移を見てからではないと、有額回答の提示が出来ないことを理解願いたい。

【日検協会】

前回の交渉で有額回答の提示がまだ出来ない旨を労組に伝えただが、今回の交渉においても21年度事業損益については確定したところであるが、やはり現在の中央港湾団交の推移を見据えたいので有額回答の提示としたいことを理解願いたい。

【第5回22春闘交渉】

4月5日(火) 第5回検数労連22春闘交渉で、組合は前回交渉同様、両協会に対し賞金引き上げを含む有額回答と諸要求回答の提示を求め交渉を行いました。



次回交渉
第6回労連
22春闘交渉は事務局調整となります。

体性を持った回答の提示を強く求める。
港湾産別交渉を理由とした回答提示の遅れには抗議せざるを得ない。業界紙を見ても港湾産別の動向に関係なく有額回答を提示している企業もあるなかで、自主性が欠けていると言わざるを得ない。
我々は賞金以外の要求も重要視している。最近、東北地方や関東地方で発生している地震等の自然災害に対する対応や、放射線測定業務従事者の健康診断、新型コロナウイルス接種における『特別休暇』の設置、人員確保対策として福利厚生充実や港湾力シツシとの連携による奨学金補助制度の設置など、直接的な賞金以外の要求については港湾産別の推移とは関係なく回答できるとの認識している。そのような事から、次回交渉では賞金を含む大きく前進した前向きな回答を期待している。



佐野コンテナラウンドユースと荷役風景

検数労連中央22春闘行動4年振りの開催。 佐野インランドポート&相馬港&福島第一 原発半径20キロ圏内を視察。

4月1日〜2日にかけて栃木県佐野インランドポート、福島県相馬港、福島第一原発20キロ圏内への視察を行いました。佐野インランドポートでは2018年の開業後、北関東を中心に取り扱い実績を右肩上がりに伸ばし続けており、現時点でのコンテナ取扱状況やヤード拡張状況、荷役状況などの視察をしてみました。今回の視察は4年ぶり3回目の視察となり、引き続き、港湾の通過貨物対策の観点から取り組みをすすめていく必要を感じました。



その後、福島県に移り3月16日に2年連続して発生した最大震度6強を観測した相馬市内、相馬港への視察では、石炭荷役で使用されるアンローダー2機の倒壊、洋壁に通じる港湾道路や岸壁に大きなひび割れが発生するなどの被害状況を見ました。
福島第一原発半径20キロ圏内視察纏につづく。

3. 16の地震で沈下した岸壁と柳原さん/同じく地震で倒壊したアンローダー